

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月12日

上場会社名 株式会社グリーンペプチド 上場取引所 東
 コード番号 4594 URL http://www.green-peptide.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 健一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 酒井 輝彦 (TEL) 03-5840-7697
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	613	—	△786	—	△791	—	△793	—
27年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第3四半期	△29.41		—					
27年3月期第3四半期	—		—					

- (注) 1. 当社は、A種優先株式(42,428株)について、普通株式を対価とする取得請求権の行使を受け、平成27年7月14日付で普通株式(42,428株)を発行し、当該A種優先株式を自己株式として取得しました。当該自己株式は同日付で消却しております。その後、平成27年7月31日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、1株当たり四半期純利益は、当事業年度の期首に当該株式分割にかかる一連の手続きが行われたと仮定して算定しております。
2. 当社は、第3四半期の業績開示を当事業年度より行っているため、平成27年3月期第3四半期の実績及び増減率は記載しておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
28年3月期第3四半期	百万円 3,161	百万円 2,921	% 92.4
27年3月期	1,227	1,024	83.4

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 2,921百万円 27年3月期 1,024百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	832	1.3	△1,341	—	△1,328	—	△1,329	—	△47.15

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
2. 当社は、A種優先株式(42,428株)について、普通株式を対価とする取得請求権の行使を受け、平成27年7月14日付で普通株式(42,428株)を発行し、当該A種優先株式を自己株式として取得しました。当該自己株式は同日付で消却しております。その後、平成27年7月31日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、1株当たり当期純利益は、当事業年度の期首に当該株式分割にかかる一連の手続きが行われたと仮定して算定しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	31,807,700株	27年3月期	25,307,700株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	—株	27年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	26,985,882株	27年3月期3Q	—株

- (注) 1. 当社は、平成27年3月期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成27年3月期第3四半期の期中平均株式数（四半期累計）の記載はしていません。
2. 当社は、平成27年7月31日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間において、当社は、リード開発品であるITK-1の第Ⅲ相臨床試験の推進、及び米国で研究開発中のがんペプチドワクチンGRN-1201の非臨床開発及び治験届（IND:Investigational New Drug）申請、その後において第Ⅰ相臨床試験の準備を行いました。

上記の2つの主要パイプラインの進捗状況は以下のとおりであります。

①ITK-1（薬剤選択型前立腺がんペプチドワクチン）

平成25年6月以降、ライセンスアウト先の富士フィルム株式会社とともに、去勢抵抗性前立腺がん患者を対象とする第Ⅲ相臨床試験を実施しております。平成27年6月に行われた中間解析において、最終解析における主要評価項目達成の見込みが一定以上あることが示され、第三者機関である効果安全性評価委員会より治験計画書の変更なく治験を継続するよう勧告を受け、治験継続となりました。

②GRN-1201（グローバル向けがんペプチドワクチン）

第Ⅲ相臨床試験まで進んでいるITK-1の知見を活かし、米国での研究開発・ライセンスアウトを目指すGRN-1201については、平成27年10月5日に米国食品医薬品局（FDA:Food and Drug Administration）へ治験届を申請し、同年11月に審査が完了したため、米国で第Ⅰ相臨床試験を開始することとなりました。第一適応としてメラノーマ（悪性黒色腫）患者を対象とする試験の準備を進めております。

上記のとおり、がん免疫治療薬分野における研究開発を推進している中、新しい治療法を含めたさらなる研究開発活動の拡大・推進に邁進すべく、平成27年10月22日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間におきましては、売上高は613,113千円、営業損失は786,932千円、経常損失は791,992千円、四半期純損失は793,546千円となりました。

なお、当社は単一事業であり、セグメントは「医薬品開発事業」でありますので、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は前事業年度末より1,933,619千円増加し、3,161,085千円となりました。これは、現金及び預金が1,968,943千円増加したことが主な要因であります。

負債は前事業年度末より36,165千円増加し、239,503千円となりました。これは、買掛金が11,743千円増加したこと、前受金が11,947千円増加したことが主な要因であります。

純資産は前事業年度末より1,897,454千円増加し、2,921,581千円となりました。これは、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,345,500千円増加したこと、四半期純損失793,546千円を計上したことが主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末の83.4%から92.4%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の業績予想につきましては、平成27年10月22日に公表した通期業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	823,737	2,792,680
売掛金	79,599	93,416
商品及び製品	4,573	13,408
仕掛品	16,770	—
原材料及び貯蔵品	127,157	112,709
前渡金	12,179	9,024
前払金	57,126	53,634
未収入金	10,475	9,291
その他	24,359	13,036
流動資産合計	1,155,979	3,097,200
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	14,539	12,953
機械及び装置（純額）	979	798
工具、器具及び備品（純額）	29,735	20,158
有形固定資産合計	45,255	33,909
無形固定資産		
ソフトウェア	2,157	2,031
ソフトウェア仮勘定	—	3,870
無形固定資産合計	2,157	5,902
投資その他の資産		
差入保証金	24,073	24,073
投資その他の資産合計	24,073	24,073
固定資産合計	71,486	63,884
資産合計	1,227,465	3,161,085

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	57,920	69,663
未払金	45,156	46,149
未払法人税等	4,531	6,265
前受金	66,850	78,797
その他	4,451	10,805
流動負債合計	178,910	211,682
固定負債		
退職給付引当金	14,968	18,520
繰延税金負債	2,076	1,863
資産除去債務	7,383	7,437
固定負債合計	24,427	27,821
負債合計	203,337	239,503
純資産の部		
株主資本		
資本金	642,585	1,988,085
資本剰余金	626,170	1,971,670
利益剰余金	△244,627	△1,038,173
株主資本合計	1,024,127	2,921,581
純資産合計	1,024,127	2,921,581
負債純資産合計	1,227,465	3,161,085

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	613,113
売上原価	574,301
売上総利益	38,812
販売費及び一般管理費	825,745
営業損失(△)	△786,932
営業外収益	
受取利息	71
補助金収入	13,788
その他	75
営業外収益合計	13,935
営業外費用	
支払利息	16
為替差損	536
株式交付費	18,441
営業外費用合計	18,994
経常損失(△)	△791,992
税引前四半期純損失(△)	△791,992
法人税、住民税及び事業税	1,765
法人税等調整額	△212
法人税等合計	1,553
四半期純損失(△)	△793,546

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

当社は、平成27年10月21日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式発行6,500,000株（発行価格450円、引受価格414円、資本組入額207円）により、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,345,500千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において資本金が1,988,085千円、資本剰余金が1,971,670千円となっております。

(セグメント情報等)

当第3四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

当社の事業セグメントは、医薬品開発事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。